



実践塾

現場運営のコアに位置付けられる現場リーダーには、実務能力に加えて、部下やパートタイマーとのコミュニケーション能力や、理論的な現場改善の計画・遂行能力などの作業スキル以外の能力が求められるようになります。

本講座では、現場リーダー層やリーダー候補の方が、現場運営に必要な理論を学ぶと共に、グループ演習を通じて研修期間中に各自が設定した課題に取り組むことで、経験を通して理論を取得することができます。

講義

物流の基礎 / リーダーの仕事 / 現場の環境整備 / 物流現場の計数管理 / 業務改善の方法 他

演習

1. 自部署(自身)の課題・問題点の抽出
2. 課題に対する到達目標の設定と実施策の策定
3. 実行計画づくり
4. 進捗確認と次善策の策定
5. 成果測定

拠点が複数ある場合、各拠点で研修を実施し、普段他拠点を見ることのできない研修参加者に自社の理解をより深めていただくことを推奨しています。

研修カリキュラム例

内容	第1回(4月)	第2回(6月)	第3回(8月)	第4回(10月)	第5回(1月)	第6回(3月)
開催場所	埼玉	埼玉	千葉	神奈川	徳島	本社
現場視察 9:00～10:30	各拠点で開催。拠点出席者による拠点案内					－
第1部 講義 10:30～11:30	物流とは	現場リーダーの仕事	物流現場の環境整備	物流現場の係数管理 (物流KPI)	改善効果測定とシミュレーションの方法	グループ ディスカッション 研修成果 まとめ
第2部 講義 11:30～12:30	物流業界の現状	社員の仕事、パートの仕事	パートタイマーの戦力化	物流業務改善の基礎	費用対効果の算出	
第3部 グループディスカッション 13:30～15:30	研修期間に達成すべき成果に対する目標の設定	設定した目標に対する進捗状況の確認と 新たな課題に対する次善策の設定				グループ 発表 研修成果 発表
第4部 グループ発表 15:30～17:30	各グループからの発表と質疑応答					ロジSPより 終了証授与
まとめ	ロジSPより					

※このカリキュラムは一例です。御社に合わせた研修内容のご提案を行い、年間、複数年にわたる研修計画をコーディネートいたします。